

一般質問

6月 定例会

行政全般

各事業について問う

地域の声を反映し策定



問 若者の働く場の確保について取り組むべきではないか。

答 大西 町長

佐賀インター供用時の受け入れ態勢の促進。情報収集等を行い企業誘致に努める。

問 60才以上が50%の町、長年町を支えていただいた方に心配のない生活支援をすべきではないか。

答 宮川 健康福祉課長

地域包括支援センターやあったかふれあいセンター等と

連携し、必要なサービスを行う。

問 心配事の相談は土日祝祭日にも受付を。

答 大塚 地域住民課長

今後検討する。県の事業については県へも要望したい。

問 町のホームページは古いバージョンのパソコンで見ることができないが。

答 松本 情報防災課長

見られるよう改善したい。

問 職員をパソコン技術習得の家庭教師として派遣してはどうか。また、その対応を人事評価に反映させてはどうか。

答 大西 町長

期間限定で前向きに検討する。情報防災課に限らず頑張

った職員は人事評価で対応する。

問 佐賀北部には診療所の他、公共施設があるが、防災拠点として整備するか。

答 松本 情報防災課長

大変重要な役割を担う地域施設整備など今後の防災計画の中で検討する。

問 津波浸水が予想される小中学校の避難対策や、ビニールハウス等の放送告知対策を問う。

答 松本 情報防災課長

小中学校では避難訓練を実施し、施設整備は中長期計画で安全な場所へ移転する。ビニールハウス等へ緊急放送を届ける方法はあるが現行制度では有料である。

問 窪川・佐賀間の自動車専用道の供用開始の時期はいつごろか。

答 森田 建設課長

現在の事業進捗率は21%で、供用開始は平成28年度以降と

なる。

問 町内の歩行者を含めた交通安全計画は十分か。

答 森田 建設課長

人を優先した計画や課題等を検証し、引き続き安全対策に取り組み、国、県にも更なる要望をしたい。

情報ネットワーク
加入促進対策は
チラシや家庭
訪問等に対応

問 光ネット等の加入促進対応を問う

答 松本 情報防災課長

現在の加入状況は、光ネット93・8%テレビ37・9%、インターネット19・5%。よく分からないという方への訪問説明などを行なう。加入促進については定期的にチラシを配付する。

その他の質問

※町境について
※産業振興について